▲金魚の「ちょうちん」を一緒に作り、交流を深めました

どっちも長洲中学校！

～大分県宇佐市・長洲中学校が来町し交流を深める～

８月22日、大分県宇佐市にある長洲中学校から生徒・教職員・保護者が、長洲町の長洲中学校を訪問しました。この訪問は、全国に2校しかない同じ校名の「長洲中学校」同士が仲良くしようと、生徒会やPTAなどが交流を行っているもので、今年で２回目の訪問となりました。

来町した生徒たちは、お互いの生徒会活動や地域の特色について紹介し合い、その後、長洲町の特産である金魚の「ちょうちん」を一緒に作りました。長洲町の長洲中学校生徒会長の稲田紘舜くんは、「相手の学校のことを理解するいい機会が持てました。今後も、ますます交流を深めていけたらと思います」と話していました。

地域の安全は私たちが守る！

～町女性消防隊が熊本県女性消防操法大会出場～

8月23日、「第1回熊本県女性消防操法大会」が城南町で開催され、玉名郡支部代表として長洲町から町女性消防隊が出場しました。女性消防隊のポンプ操法の県大会が開催されるのは全国でも初めてで、大会には県内から12チームが参加し、機敏性や正確性を競い合いました。

出場した6人の選手たちは炎天下の中にもかかわらず、指揮者の力強い号令のもと、素早い動きでポンプ操法を行いました。惜しくも入賞には届きませんでしたが、堂々とした操法を披露した選手たちに大きな拍手が送られました。

▲堂々と操法を披露する選手たち

選手紹介（敬称略）　指揮者　作本美恵、1番員　松浦景子、2番員　福崎万里、3番員　坂口篤美、4番員　松森節子、補助員　濵田るみ

▲研修会の中で行われた鹿児島国際大学 千々岩教授の講演の様子

教育力の向上へ

～「未来を切り拓く人づくり」長洲町教育推進研修会開催～

８月24日、町中央公民館において、「子どもとともに未来を切り拓く人づくり」をテーマとして、第１回長洲町教育推進研修会が開催されました。

この研修会は、「教育力」をどのように向上させていくか、町内小中学校の教師約110人が参加し、鹿児島国際大学の千々岩弘一教授の講演や、小中学校での一貫した教育を図るため、国語・算数・数学などの各分科会が行われました。学力向上対策委員会会長の松本昴長洲小学校校長は「教育力を高めるためには、授業内容の充実と小中学校の連携、そして私たち教師の意識改革が必要である」と呼びかけました。

まちの話題

まちづくり課（内線２２４）

ともに手をたずさえ50年

～第51回金婚夫婦表彰式～

▲金婚式を迎えられたご夫婦の皆さん

▶代表して表彰状と記念品を受け取る明受善明さんと妻の睦子さん

９月２日、熊本日日新聞社主催の第51回金婚夫婦表彰式が、町中央公民館で行われました。長洲町では、今年35組の夫婦が金婚式を迎えられ、ともに歩んできた半世紀を祝いました。

表彰されたご夫婦は次のとおりです。

清源寺
田頭　薫

山野
耕一　ヨシ子

作本
耕甫　芳子

牧嶋
信也　弘子

折地
松尾　孝二郎　三咲

赤崎
本田　績　政子

鷲巣
鴻上　友春　富津國　隆

向野
松岡　隆二　正子
宮島　幸徳　百合子
大久保　良臣　美恵子

宮崎
古林　好次　ミヨ子

永方
北本　一人　ナツ子
福岡　睦夫　照子

古城
明受　善明　睦子

建浜
田成　正信　洋子

駅通
梶原　正則　恵美子
松岡　正昭　美和子

梅田
田上　龍男　ナルエ
西山　照隆　勝子
土山　博道　キミエ
上野　善安　喜代子
境　隆弘　キミヨ
村木　甚太郎　勝子

宮ノ町
柴田　正信　セツ子

松原
松浦　國勝　笑子
立山　哲洋　重子

宝町
濱本　正昭　澄子

磯町
浦島　義弘　弘子

下東
浦本　勝男　美智子

西荒神
茂見　義秋　セツ子

東荒神
宮崎　敏郎　サカエ
塩山　正徳　ケイ子

大明神
井上　正彦　忍
濱水　登々務　恵子

（敬称略）

▲手づくりの成人式に向け、話し合いをする参加者たち

成人式を自分たちの手で
～第１回成人式実行委員会開催～

来年１月 10 日に開催される町成人式に向けて、成人者自らで企画運営を担当する実行委員会が、９月８日、ながす未来館で開催されました。

この日は、第１回目ということもあり、集まった８人の委員の顔合せや昨年の式典の内容などの確認が行われ、約４ヵ月後に控えた“自分たちで手がける成人式”に向けてイメージを膨らませている様子でした。

町では随時、実行委員を募集しています。興味のある人や参加を希望される人は、
生涯学習課（☎㉙００５３）または、ながす未来館（☎㊾２００５）までご連絡ください。

認知症への理解を深めよう
～腹栄中で認知症サポーター養成講座～

町では、認知症への正しい知識を持ってもらい理解を深めてもらおうと、９月10日、腹栄中学校で認知症サポーター養成講座を開催しました。

この日は、「NPO法人たまな散歩道」の西村哲夫氏を講師に招き、１年生の生徒約90人が参加して講座が行われました。講座では、西村氏から認知症の症状や普通の物忘れとの違いなどを本やビデオを用いてわかりやすく説明され、生徒たちは真剣な表情で話に耳を傾けていました。

▲西村氏の話を熱心に聞く生徒たち

一区一創運動活動リポート

新山区　夏祭り

８月２日、区民の親睦を目的として新山墓地公園で夏祭りを開催しました。当日は、約300人の区民が参加し、盆踊りや手品ショー、ラムネ早飲み大会、また最後には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会があり大いに盛り上がりをみせました。

「多くの区民の皆さんとともに大変にぎやかな時間を過ごすことができました」と島永区長。

▲子どもたちのラムネの早飲みに大盛り上がり

西荒神区　地蔵盆

８月24日、区内の広場内で地蔵盆を行いました。この日は、老人クラブを中心に24人の参加があり、今年初盆を迎えられた4人の方のご冥福を祈るとともに区民の交通安全や健康を祈願しました。

「今年も区の伝統行事を無事に行うことができました。また、区民が集まり、親睦を深める場にもなりました」と山田区長。

▲区の伝統行事となった地蔵盆

全国大会で5mを目指す！
走り幅跳び 長洲中学校1年生髙野早紀（建浜区）さん優勝
～第40回ジュニアオリンピック陸上熊本県予選大会～

▲優勝と全国大会出場の報告をする髙野さん（左）

８月30日、熊本市の水前寺陸上競技場で開催された、第40回ジュニアオリンピック陸上熊本県予選大会において、長洲中学校1年生の髙野早紀さん（建浜区）が、競技種目「1年走り幅跳び女子」において、４m99cmを跳んで見事優勝しました。

この記録は、全国大会出場の標準記録を突破する好記録であり、10月24日、横浜市で開催される全国大会への出場が決定しました。優勝報告に訪れた髙野さんは、「全国大会では、５m以上を跳んで入賞を目指します」と、全国大会に向けて力強く抱負を語りました。

自然に感謝の気持ちを込めて
～きれいな川と海づくりデー～

８月29日、長洲海岸を中心として、美化清掃活動が行われました。これは、町のきれいな川や海を守り次の世代に伝えていくこと、また自然への感謝の気持ちを込めて毎年開催しているものです。

この日は、早朝からの作業にもかかわらず約600人が参加し、砂浜に落ちているごみなどを回収しました。2時間ほど行われた作業では、約1,300kgのごみを回収することができました。

▲砂浜のごみを回収していく参加者

大きく育てよ
～長洲小児童がクルマエビの稚エビ放流を体験～

９月4日、長洲港で、長洲小５年生54人がクルマエビの稚エビを放流しました。

このクルマエビの放流は、有明海沿岸の７市２町と24漁協で構成する、県栽培漁業地域展開協議会の事業で、有明海の資源を守っていくことを目的に行われたものです。この日は、県内で今回放流が予定されている約260万匹の稚エビのうち、約18万4,000匹が長洲町で放流され、その一部が児童たちによって行われました。

子どもたちは、バケツに入れた体長4センチ程に育った稚エビを、「大きく育てよ」などと声を掛けながら海に放流しました。

◀稚エビを放流する子どもたち